



レビー小体型認知症サポートネットワーク福岡 第1回研修会・交流会



2016年3月17日（木）BiVi天神で、DLBSN福岡の第1回研修会・交流会を開催しました。顧問医である坪井先生の講義後、3つのグループに分かれてディスカッションを行いました。活発なディスカッション後に、各グループから感想や質問が出されました。協力医である合馬慎二先生、福岡大学病院認知症看護認定看護師の岩本智恵美さんも加わり、様々なアドバイ스가なされました。その一部をご紹介します。

質疑応答

Q1. 病院の選び方を教えて欲しい。

A1. 福岡市では地域ごとにサポート医がいて、診断が難しい場合に大学病院（認知症疾患医療センター）を紹介するネットワークを作っている。医師会のホームページにサポート医や相談医が掲載されているので参考にしてほしい。

Q2. 主治医の薬の使い方に疑問を持っている。

A2. 薬については、主治医の先生との関係を大事にし、しっかり相談して薬の反応を見ながら使っていく必要がある。主治医に何でも全部話すことが大事である。また、受診が途切れると空間ができてしまうので、継続して受診してほしい。

Q3. 受診拒否が強い場合どうしたらよいか。

A3. 根気よく否定しないで関わっていく。人それぞれやり方が違う。一度受診のことをリセットし、良い関係作りから始めてはどうか。だまして連れていくのが一番良くないと言われている。徐々に外出する機会を増やしていくことも必要である。

Q4. 嫉妬妄想について

A4. 家族内で役割が果たせなくなることで出てくると言われている。一つでも持てる力、役に立つところを観察し、役割作りをしていくとよいのではないかと。

Q5. 夜間排尿について

A5. 排泄パターンをつかむことで予測できる。排尿日誌や1日の日記をつけると原因がわかることがある。前立腺肥大症が隠れていることもあるので注意して欲しい。また、夜間に水分過剰になっている場合もあるので、日中しっかり水分をとり、夕方から控えるなども必要である。

(報告者：DLBSN 福岡副代表坂梨左織)

次回の研修会・交流会は2016年6月9日(木)18時~です。

